

日本とナイジェリアの人的交流

在ナイジェリア日本国大使館

2018年夏、西日本地域が、豪雨災害によって被った深刻な被害からの復興に取り組む中、全国各地から集まった数多くのボランティアの中に、「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ」(ABE イニシアティブ)により日本で研修中のナイジェリア人青年、Okechukwu Ignatius Eze, の姿がありました。

元ホンダ・ナイジェリア社の社員で、日本にお世話になった恩返しをしたいとの思いから、交通費手弁当で被災地に向い広島県坂町小屋浦でボランティア活動に従事した Mr. Eze は、同活動に参加した動機について、「ABE イニシアティブの研修生として日本で生活する中で、日本社会に内在する極めて高いレベルの調和を感じていた。今般の豪雨災害に際し、日本の人々に対する共感の思いを示したいと考えたことに加え、復興に向けた努力の一助になりたい、被害に遭った人々の不安を取り除きたいと思った」と語りました。小屋浦でのボランティア活動を通じて、Mr. Eze は、同地域のコミュニティーの強さや強靭さについて学ぶことができたと述べています。

後日、当館より Mr. Eze にコンタクトし、書面でのインタビューを実施し、その結果を当館フェイスブックに投稿したところ、多くのナイジェリア人から非常に好意的な反応が数多く寄せられました。

(関連情報)

在ナイジェリア日本国大使館フェイスブック

<https://www.facebook.com/1337111926432348/posts/1434054173404789/>